

◆御幸森・中川小学校区新通学路安全対策

令和元年7月24日実施、8月26日現地確認

場所	状況	実施可否	対策案				
			建設局(田島工営所)	生野警察署	生野区役所	学校・教育委員会	その他
A	・中川歩道橋西側階段を降りて北上する際に接触危険があるので、北側にも階段がほしい	×	埋設管、電柱(それに伴う架空線)、電話ボックスの移設が必要 歩道橋の安全性照査が必要 歩道乗り入れ部からの車両に対する視認性が低下する階段に面する沿道住民の承諾が必要				
	・歩道橋の柵が低く乗り越える危険性があるので転落防止柵を高くしてほしい	×	高さが120cmあり、既に基準(110cm以上)を満たしている				
	・傘差して交差危ないのでアーチを設置してほしい	×	歩道橋の安全性照査が必要 (増築による補強の有無、強風対策等)				
	・経年劣化していて倒壊しないように補強工事をしてほしい	×	5年毎の法定点検を実施し、適切に点検・維持管理をしている。 (参考) H14 耐震補強工事 H27 部分補修工事 点検 判定 I (I ~IV:数字が小さいほど健全)				
	・中川歩道橋東側の階段下が左折車両との接触の危険があるので歩道境界ブロック沿いに安全対策用の柵等の設置をしてほしい	×	要望場所の歩道に水道管制水弁があり、柵の設置は不可	横断歩道の障害にならないように設置配慮			
		○	制水弁の影響範囲外に車止めポスト1本程度設置可				
	・視覚でわかるように通学路表示等の看板(飛び出し坊や)を設置してほしい	○	通学路標識を設置(設置箇所検討中)				
B	・視覚で通学路とわかるようグリーンラインを引いてほしい(中川小前の東西道路)	○	時間帯通行規制区間外にグリーンラインを標示	正門前横断歩道の再塗装実施			
	・視覚で通学路とわかるようグリーンラインを引いてほしい (御幸森小南側の東西道路⇒今里筋まで)	○	外側線が摩耗しているためセットでグリーンラインを標示 ※幅員狭くグリーンライン内の歩行は困難(約15cm) 車道幅は最低3.0m以上必要				
C	・車両の通行が多いため、時間帯交通規制してほしい	×		・交通量、必要性をみて検討 ・地域住民の統一的な合意が必要			
	・児童の安全、危険運転の抑止からも防犯カメラを設置してほしい(作動中表示)	○		設置に向けて調整中			
	・小学校南西角の交差点は、自転車の往来が多く危険	○	交差点をカラー舗装化(ニート)				
D	・耕整橋に車両からの安全対策用の柵等の設置してほしい	×	基礎が設置できず柵不可。				
		○	歩車分離のブロックを設置				
	・車両の通行が多いため、時間帯交通規制してほしい	×		・交通量、必要性をみて検討 ・地域住民の統一的な合意が必要			
E	・平野川両サイドの道につながる東西の道は飛び出しが見づらく危険					児童に対する交通安全指導を実施	
	・交差点で児童を確認できるようカーブミラーを設置してほしい	×	道路反射鏡は、車両対車両には有効だが、死角があるため歩行者に対する視認性は低い この場合、設置の最適な位置は北東角だが、駐車場前であり、また集水樹とその排水管に近接し施工は困難				
		○	交差点をカラー舗装化(ニート)				
F	・御幸橋を(通学路に設定するなら)時間帯交通規制してほしい	×		・交通量、必要性をみて検討 ・地域住民の統一的な合意が必要			
	・車両からの安全確保のため、ガードレール等の柵を設置してほしい	×	基礎が設置できず柵不可。				
		○	歩車分離のブロックを設置				
G	・平野川両サイドの道につながる東西の道は飛び出しが見づらく危険						
	・車両の通行が多いため、時間帯交通規制してほしい	×		・交通量、必要性をみて検討 ・地域住民の統一的な合意が必要			
	・視覚で通学路とわかるようグリーンラインを引いてほしい	○	外側線が摩耗しているためセットでグリーンラインを標示				
H	・角の病院(薬局)の横に自転車が毎日大量に駐輪されており、歩道が覆い尽くされている。	△	駐輪はテナントの来客によるもの 指導をするとしてもテナントの協力が何より必要	工営所と連携し、駐輪禁止の指導を実施			
	・通学時間帯の朝は車の出入りも大変多く危険					児童に対する交通安全指導を実施	
I	・自転車の往来が多く、朝は特に急いでスピードを出したり、飛び出したりして危険。	○	交差点をカラー舗装化(ニート)				
備考	・防犯カメラの設置状況知りたい						